

## 応用課程担当者養成コース

【訓練期間】1年

職業能力開発大学校に設置されている応用課程の訓練担当者を育成するコースです。

応用課程は、「次代を担う高度で多様な職業能力を有し、“ものづくり現場を担う将来のリーダー”として企業の発展に貢献できる職業人を養成する」ことが目的とされており、応用課程担当者養成コースは、このための教育訓練を担当できる人材を養成することを目的としています。

対象者	・ 専門課程の高度職業訓練担当資格を有する方
担当できる課程	・ 職業訓練指導員免許(応用課程担当資格)

### 訓練内容

- **訓練スケジュール** より実践的なカリキュラムとするために、職業大における授業と、職業能力開発大学校の現場におけるカリキュラムで構成されています。

会場	時期	4月	5月～9月	10月	11月～1月	2月
職業能力開発総合大学校		能力開発学科 研究テーマ決定		能力開発学科 研究論文 中間発表会		能力開発学科 研究論文発表会
実習施設			専門実技 (OJT実習研究活動)		専門実技 (OJT実習研究活動)	

### 訓練科目の例

#### 能力開発学科

- 実践技術者養成特論
- 統計解析特論
- マネジメント特論
- ヒューマンスキル特論
- コンセプチュアルスキル特論
- 教科指導法特論
- 安全衛生環境特論
- 品質・生産管理特論
- マネジメント演習
- 職業能力開発促進法の沿革等
- 職業訓練の実施に係る関連法
- 職業能力開発体系論

#### 専門実技 (OJT実習)

- 統計解析実習
- 実践技術指導者実習
- 実践技術企業実習
- 課題制作特別実習
- 教材開発研究

※訓練科目の単位取得に加え、研究論文を作成し審査に合格することが修了要件の一つとなっています。  
 ※OJT実習の具体的な時期・実施方法については、入校後にお知らせします。  
 ※所属する研究室及び指導教員は、入校後4月下旬に決定します。  
 ※訓練科目の最新情報はホームページをご確認ください。



## コース修了後のキャリア

(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 ●職業能力開発大学校

仕事に必要な高度で専門的な技能・技術・知識を備えた人材を育成します。地域の企業と共同研究を行ったり、入試業務や広報業務に携わったりすることもあります。

教える主な対象者 ・ 高卒者等 ・ 在職者

